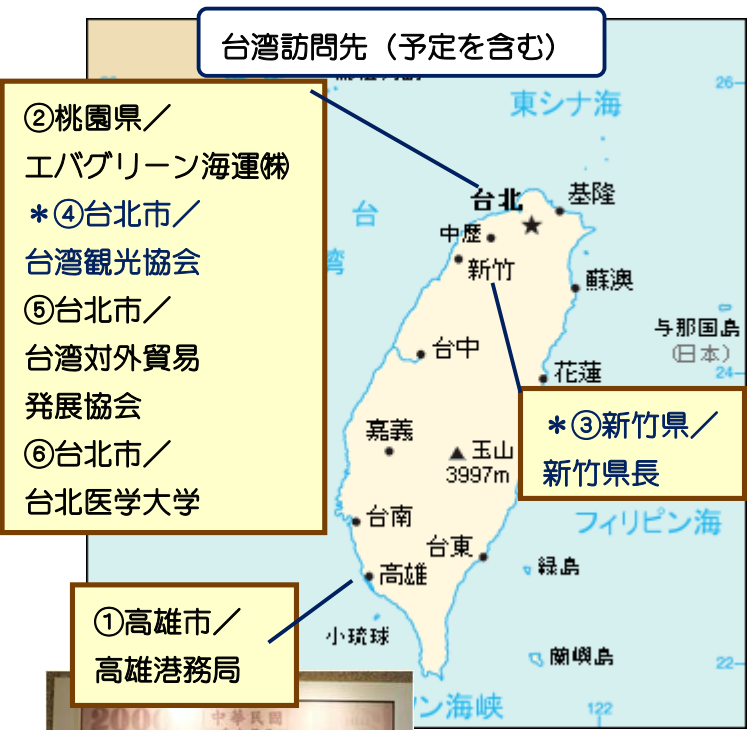




～台湾視察報告～

7月21日～24日にかけて、台湾に視察調査に行ってきました。神戸は、明治の開港以来、台湾からも、たくさんの方が来訪し、神戸という土地に根付き、華僑となって活躍され、神戸の発展に寄与されてきており、神戸らしさを形成する礎の一端にもなっています。台湾とのつながりは深く、民間の兵庫日華親善協会や、また、神戸市会でも、早くから日華親善友好議員連盟が結成され、台湾との民間交流を担ってきました。神戸を訪問する外国人観光客は、トップが台湾からの観光客ともなっており、観光産業の面からも、より重要になってきています。今回、港湾・物流、観光交流、対外貿易、医療産業関連の自治体や企業を訪問・調査を行い、様々な連携を模索してきました。

親日で知られる台湾ですが、戦前、日本語教育を受けていた日本語世代と、クールジャパンに代表される新しい日本ファンの世代が重なり合って、益々、日本とのつながりが深く浸透していている、そんな気風も感じてきました。



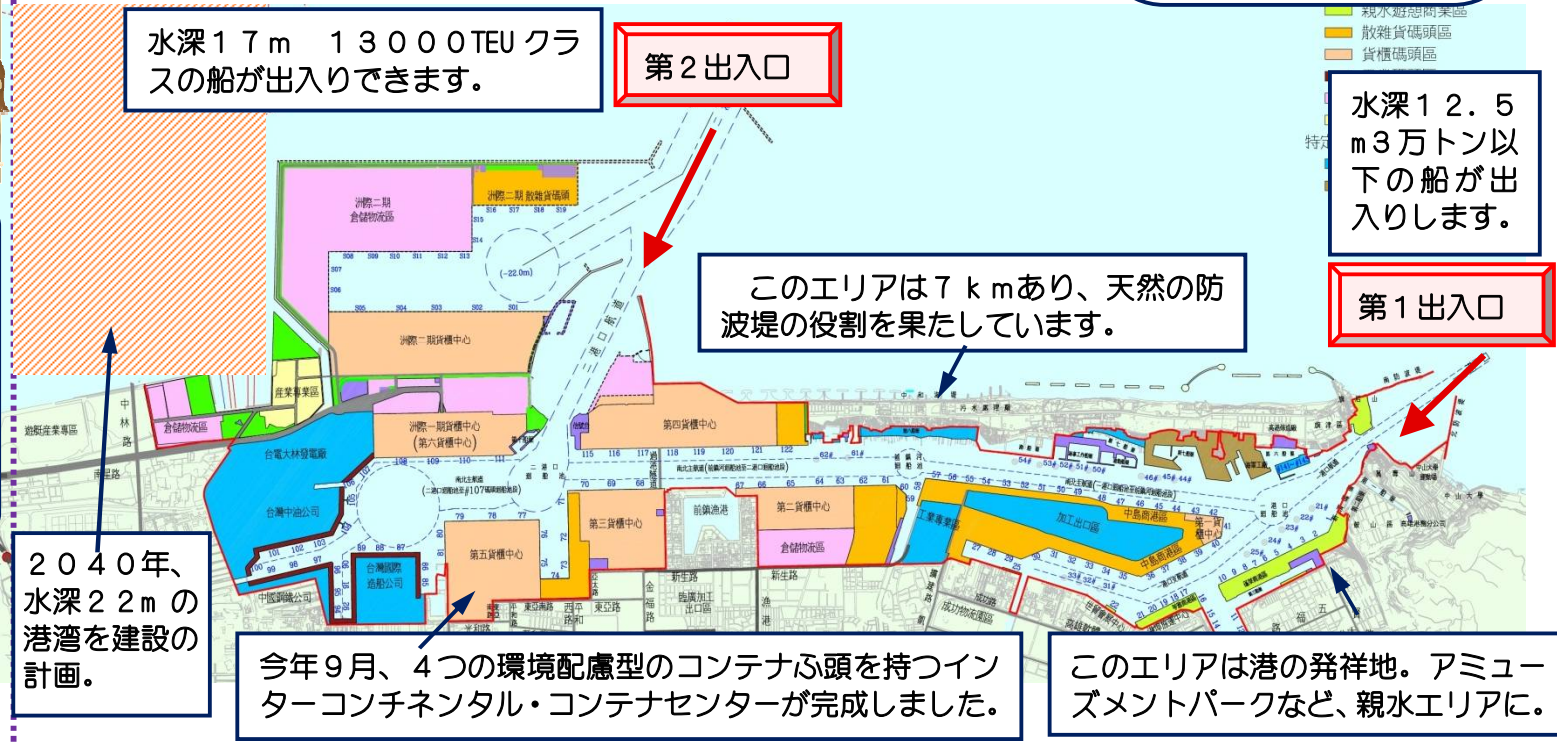
- <訪問先と調査目的>
- ①高雄市・・・高雄港務局
高雄港の現状調査及びコンテナ集荷対策・港の環境対策などについて
- ②台北市・・・エバグリーン海運㈱社
阪神港利用時の課題・要望について。
- ③台北市・・・中華民国対外貿易発展協会（TAITRA）
対外貿易政策、企業への貿易開拓支援の内容について
- *④台北市・・・台湾観光局
台湾との対日観光・台湾への訪台観光の交流推進について
- *⑥新竹県・・・新竹県庁 新竹県県長 邱鏡淳氏面会
新竹県での温泉地の状況調査、及び有馬温泉との連携について
- ⑥台北市・・・台北医学大学医学院 張文昌教授
対日がんシンポジウムの内容など、神戸医療産業都市との連携調査
- *④台湾観光局及び⑥新竹県庁については、台風11号到来に伴う警報発令により、中止となり、急遽資料を送付願い、質問状と回答のやりとりとなりました。

訪問先4 <台湾貿易発展協会> 日本でいう「JETRO」に相当する台湾の貿易振興のための機関です。何より驚いたのは、人材育成の制度。大学等を終了した研修生に、台湾政府が補助金を出して、貿易などの教育を行います。研修は2年間ほどあり、最後に、数か月、海外の企業に派遣され、まさに実践の現場を経験して戻ります。対応していただいた課長さん方も、日本人かと錯覚するような流ちょうな日本語で話され、日本の色々な事情に精通されていました。

訪問1 高雄港 港務局



台湾港務(株)高雄港支社 説明していただいた Ms. 李麗玲と



～高雄港での調査より～

○高雄港も、日本の各港と同様に、急成長する中国の港をはじめ、新興の港湾との競争にさらされており、順位を落としているものの、2012年、13位に留まっています。

○最近、整備されたコンテナ・ターミナルに加え、2040年という長いスパンで、更に深い深度の港湾整備が計画されています。

○高雄港での説明では、「環境に優しい」「グリーン・ポート」という言葉が良く出され、「環境配慮」型の港湾整備をしきりに訴えられていました。

○環境配慮の具体例を聞くと、下水処理水の扱いや、海底の浚渫、陸上電源の整備がありました。陸上電源は、既に、整備を終えているバースもあり、今後も整備する方向のようでした。



船は、港に停泊中も、エンジンを回して発電しています。岸壁から電気を供給するのが「陸上電源」設備です。これまで、神戸港でも陸上電源設備の設置を！と質問してきましたが、標準化ができていないこと、採算面などの課題が多いという回答でした。高雄港では整備が進む陸上電源、今後も導入を訴えていきたいと思います。

〒655-0034 神戸市垂水区仲田3-1-8-202 (垂水支部) 神戸市議会議員 川原田弘子事務所
TEL&FAX 078-709-8998
e-mail: happy@hiroko-club.com
URL: <http://www.hiroko-club.com>

ご相談はこちら

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
民主こうべ政策議員団
TEL 078-322-5844
FAX 078-322-6161